

Fiery proServer 設置ガイド

本マニュアルでは、EFI™ Fiery® proServer を設置する方法について説明します。訓練を受けた技術者に依頼せずに Fiery proServer を設置するお客様を対象としています。本書では、以下のトピックについて説明します。

- 設置条件の確認 (1 ページを参照)
- (オプション) ファニチャーの設置 (2 ページを参照)
- Fiery proServer の接続 (2 ページを参照)
- ネットワークブリッジ (2 ページを参照)
- Fiery XF のライセンス取得 (4 ページを参照)
- Fiery XF の設定 (5 ページを参照)
- 設置の完了 (6 ページを参照)

設置場所の条件の確認

Fiery proServer をインストールする前に、設置条件を確認します。

プリンタの使用準備

- プリンタが Fiery proServer で使用できるように設定されていますか？正しい設定については、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。
- Fiery proServer 用のプリンタの設置場所付近に十分なスペースがありますか？
- プリンタの修理や調整が必要ですか？

Fiery proServer をインストールする前に、プリンタのカラーテストページを印刷してください。

テストページの結果から、プリンタの印刷品質の調整が必要になった場合は、プリンタに必要な修理や調整を行ってください。

- Fiery proServer とオプションのファニチャー（存在する場合）用に、十分な空間があることを確認してください。

Fiery proServer の背面と側面にはケーブル用の十分なスペースが必要です。

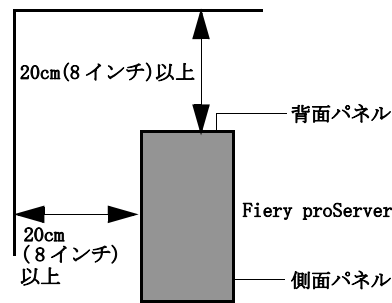


図 1: 必要なスペース



ネットワーク

- インストール時にネットワークが使用できることを確認します。
- Fiery proServer を接続する前に、IT 管理者と一緒にネットワークが正常に機能していることを確認してください。

設置場所の準備ができれば、Fiery proServer をインストールします。インストールには約 3 時間かかります。ネットワーク接続機能をインストールするときは、必ず IT 管理者の立ち会いのもとで行ってください。

Fiery proServer をインストールする前に、IT 管理者が Fiery proServer 用のネットワークコネクタをインストールしてコネクタのネットワーク機能が有効であることを確認すれば、機器のダウンタイムやネットワークへの影響を最小限に抑えることができます。

(オプション) ファニチャーの設置

ファニチャーパッケージがある場合には、ファニチャーが入っている大きな箱を開梱します。アクセサリキットに付属の組み立て手順に従って、以下の作業を行います。

- ファニチャーを組み立てます。
- 設置台に Fiery proServer を取り付けます。
- Fiery proServer の上部にモニタを取り付けます。
- 設置台のテーブル面の下にあるキーボードトレイにキーボードを置きます。
- テーブル面にマウスを置きます。

Fiery proServer の接続

会社のネットワークに Fiery proServer のケーブルとコンポーネントを接続し、Fiery proServer を起動する方法の詳細については、『*Fiery proServer の概要*』を参照してください。

ネットワークブリッジ

Fiery proServer でのネットワークブリッジはプリンタへの専用の 1 GB ネットワーク接続を行います。ネットワークトラフィックをプリプレスネットワークからプリンタに分離し、プリント - ファイルワークフローと JDF ワークフローのどちらでも使用できます。追加のプリンタはプリプレスネットワークに接続できます。

すべての Fiery proServer は、Fiery proServer の 2 つのネットワークアダプターをブリッジするよう設定されます：

- 下側のイーサネットポートは、インクジェットプリンタにオプションの分離されたネットワークセグメントを提供するものです。Fiery proServer とインクジェットプリンタの両方が会社のネットワークに接続されている場合は、このポートを使用する必要はありません。ただし、Fiery proServer とインクジェットプリンタの間に分離されたネットワーク接続を確立する必要がある場合は、下側のイーサネットポートからインクジェットプリンタにケーブルを接続してください。クロスオーバーケーブルは必要ありません。

- 上側のイーサネットポートはプリプレスネットワークに接続する必要があります。下側のイーサネットポートをプリプレスネットワークに接続しないでください。重大なネットワークの問題が発生する可能性があります。DHCPを使用している場合、ネットワークアダプターは既に適切に設定されています。Fiery proServer で静的 IP アドレスを使用している場合、以下で説明するようにネットワークアダプターを再設定する必要があります。

FIERY PROSERVER ネットワーク設定を行うには

- 1 **コントロールパネルで「ネットワークとインターネット」をクリックし、「ネットワークと共有センター」をクリックします。**

インターネットアクセスのタイプはネットワークブリッジがアクティベートされているかどうかを示します。

- 2 **「アダプターの設定の変更」をダブルクリックします。**

ローカルエリア接続は下位のイーサネットポートを示します（プリンタ用）。ローカルエリア接続 2 は上位のイーサネットポートを示します（プリプレスネットワーク用）。

- 3 **ネットワークブリッジのアイコンをダブルクリックします。**

「ネットワークブリッジのステータス」ウィンドウが表示されます。

- 4 **「プロパティ」をクリックします。**

「ネットワークブリッジのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 5 **「アダプター」で「ローカルエリア接続」を選択し、プリンタ用のネットワークを設定します。**

- 6 **「この接続で使用するアイテム」で「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択します。それから、「プロパティ」をクリックします。**

「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」ウィンドウが表示されます。

- 7 **「全般」タブでプリンタの設定を行います。**

DHCP 経由で IP を割り当てる場合、変更は必要ありません。静的 IP アドレスが推奨されます。静的 IP アドレスを割り当てるには、「以下の IP アドレスを使用する」を選択し、プリンタの IP アドレスを入力します。

- 8 **「OK」をクリックして、「ネットワークブリッジのプロパティ」ウィンドウに戻ります。**

- 9 **「アダプター」で「ローカルエリア接続 2」を選択し、プリプレスネットワーク用のネットワークを設定します。それから、「プロパティ」をクリックします。**

- 10 **「全般」タブでプリンタの設定を行います。**

DHCP 経由で IP を割り当てる場合、変更は必要ありません。静的 IP アドレスが推奨されます。静的 IP アドレスを割り当てるには、「以下の IP アドレスを使用する」を選択し、ネットワークの IP アドレスを入力します。

- 11 **「OK」をクリックし、すべてのウィンドウを終了します。**

- 12 **該当する場合は、7ステップで設定した静的 IP アドレスでプリンタネットワーク設定を行います。**

これで Fiery proServer とプリプレスネットワークからプリンタに接続できるようになりました。

ネットワークブリッジを完全に削除するには

ネットワークブリッジは Fiery proServer を起動するたびに自動的に確立されます。Windows のコントロールパネルでネットワークブリッジを手動で削除しても同じです。プリンタへの専用接続を使用したくない場合、ネットワークブリッジを完全に停止させる唯一の方法は SystemSettings.ini ファイルを編集することです。

- 1 「スタート」、「すべてのプログラム」、「アクセサリ」の順にクリックし、メモ帳を右クリックして「管理者として実行」をクリックします。
- 2 次のプログラムに対してこのコンピュータに変更を加えることを許可するかどうかを尋ねられたら、「はい」をクリックします。
メモ帳が起動します。
- 3 「Ctrl」 + 「o」 キーを押します。
[Open (開く)] ウィンドウが表示されます。
- 4 ファイル表示を「テキスト文書 (*.txt)」から「全てのファイル」に変更します。
- 5 C:\Windows\OEM\Branding フォルダに移動し、SystemSettings.ini ファイルを開きます。
- 6 “NetworkConfig = Bridge” の行を “NetworkConfig = Independent” に変更します。
- 7 「ファイル」メニューで、「保存」をクリックします。
- 8 コンピュータを再起動してください。

Fiery XF のライセンス

ライセンスの取得手続きでは、 dongle ID を使用して、ソフトウェアと dongle の間に固定のリンクを作成します。各 dongle は、電子的に組み込まれた ID によって一意に識別されます。

重 要

リモートデスクトップ接続を使用して Fiery proServer に接続する場合は、Fiery XF のライセンスを設定できません。

ライセンスファイルを生成してインストールするには

- 1 dongle が Fiery proServer の背面パネルにある USB ポートにしっかりと挿入されていること、および dongle の LED が点灯していることを確認します。
- 2 「Fiery proServer の設定」ダイアログボックスで、「Fiery XF をアクティブ化」をクリックします。
「EFI アクティベーション」ウィザードが起動します。
- 3 次のプログラムに対してこのコンピュータに変更を加えることを許可するかどうかを尋ねられたら、「はい」をクリックします。
- 4 「自動」タブをクリックします。
「自動」タブでは、新しいライセンスを生成できます。

- 5 EAC コードを入力します。「次のステップ」をクリックして EFI Activation Server への接続を確立します。

EAC コードは、印刷ドキュメントとして Fiery proServer に付属しています。EAC コードは大文字小文字を区別します。

- 6 製品の登録に関する説明を慎重にお読みください。「次のステップ」をクリックします。
- 7 ユーザ情報の詳細を入力します。
- 8 「ライセンスのインストール」をクリックします。

ライセンスファイルが生成され、コンピュータの「FlexLM」フォルダにダウンロードされます。

重 要

ライセンスファイルのダウンロード中に問題が発生した場合は、Web サイト <http://activation.efi.com> をご利用ください。

- 9 「終了」をクリックし、「アクティベーション」ウィザードを終了します。

ライセンスファイルはいつでも EFI Activation Server からダウンロードできます。ライセンスファイルのダウンロード回数に制限はありません。ドングル ID と、Fiery proServer に付属している印刷済みのエンタイトルメントアクセスコード (EAC) があれば、新しいライセンスファイルを生成できます。詳細については、『ユーザーガイド』を参照してください。

- 10 「Fiery proServer Activation」ダイアログボックスで、コンピューターを再起動するオプションが選択されていることを確認します。それから、「終了」をクリックします。

Fiery proServer が再起動します。

Fiery XF を設定する

Fiery XF のライセンスを設定し、Fiery proServer を再起動すると、Windows タスクバーのステータス領域の「Fiery XF コントロール」アイコンが赤から緑に変わります。これは Fiery XF サーバが実行中であることを示しています。

アイコンが表示されない場合は、タスクバーのステータス領域にある上向きの矢印をクリックして隠れているアイコンを表示し、Fiery XF コントロールのアイコンを隠れているアイコン領域からステータス領域にドラッグします。

Fiery XF は、Fiery proServer の電源を入れると自動的に起動します。Fiery XF を設定する前に、お使いのソフトウェアが最新の状態であることを確認してください。Fiery XF の設定の詳細については、『クイックスタートガイド』を参照してください。

重 要

ソフトウェアの更新

Fiery XF の設定を行う前に、ソフトウェアが最新かどうかを確認してください。ソフトウェアを更新するには、Fiery proServer からインターネットに接続する必要があります。

お使いのコンピューター上に最新バージョンの Fiery XF がインストールされていることを確認してください。選択可能なプログラムアップデートを検索し、ご使用のバージョンの Fiery XF が最新であることを確認します。使用可能なアップデートを確認するには、Fiery proServer のコントロールパネルで「オンラインアップデート」の行選択ボタンを押します。

次に、選択可能なアップデートを選択してダウンロードします。

インストールの完了

以下の手順を実行して、Fiery proServer のインストールを完了してください。

- USB ドライブ、ネットワーク共有、または外部ハードディスクドライブに、Fiery proServer システムのバックアップを保存します。

システムのバックアップがあると、障害が発生した場合にシステムを以前の状態に復元できます。バックアップ手順の実行には、使用するバックアップメディアやジョブデータの量に応じて、最大で 1 時間かかることがあります。バックアップの保存を定期的に行うことをお勧めします。

詳細については、『ユーザーガイド』を参照してください。

- (オプション) ネットワーク共有またはリムーバブルメディアドライブに、Fiery XF のライセンスファイルのバックアップを保存します。ライセンスファイルは、Fiery proServer 上の c:\Program Files (x86)\FlexLM にあります。

IT 管理者は、Fiery proServer を工場出荷時の状態に復元した後で、ライセンスファイルのバックアップを使用して Fiery XF のライセンスを再アクティブ化できます。

- 将来電話で修理を依頼する際にサービス担当者が使用できるように、エンタイトルメントアクセスコード (EAC) と、Fiery proServer に付属しているすべてのメディアを、安全ですぐに手の届く場所に保管しておきます。
- 『クイックスタートガイド』の説明に従って、プリンタへの接続を設定します。